

ウルグアイ概況

ジェトロ海外調査部米州課（2022年6月16日更新）

一般事項	政治動向	二国間関係																								
<p>国名：ウルグアイ東方共和国 Oriental Republic of Uruguay 面積：17万6,000平方キロメートル〔日本の約半分、出所：統計局（INE）〕 人口：353万人（2020年推計、出所：INE） 首都：モンテビデオ 人口138万人（2020年推計、出所：INE） 行政区分：19県 公用語：スペイン語 民族：欧州系90%、先住民系5%、その他5% 宗教：主にキリスト教（カトリック）</p>	<ol style="list-style-type: none">保守系二大政党であるコロラド党、国民党および1970年代より伸長した左派連合（FA（拡大戦線））を基盤とする民主主義国。1973年から1985年まで文民・軍事独裁政権。その後、伝統二政党（コロラド党、国民党）による中道左派政権は民主主義の回復・発展、自由主義的経済政策の推進、財政改革等を展開。しかし90年代に起こった経済危機の影響で国民の二大政党に対する信頼が低下。2005年にはバスケス候補の当選により史上初の左派政権が誕生し、FAが上下両院でも過半数をおさえ、続く地方選挙でも勝利しさらに躍進した。2020年3月1日、ルイス・ラカジェ・ポウ大統領率いる新政権が誕生した。15年続いた左派政権からの政権交代が行われた。前政権からの課題である治安政策、経済状況改善、教育改革を主な重要課題として掲げ、外交政策については、メルコスール諸国との関係強化に取り組む意向を示している。政権発足から2週間足らずの3月13日に新型コロナウイルス感染症による国家衛生緊急事態宣言を発動した。なお、2022年4月には国家衛生緊急事態宣言を解除し、ワクチン接種済みの外国人の入国条件として陰性証明書の提示は不要とするなど、入国条件も緩和した。日本とウルグアイの間では2021年7月、租税条約が発効した。両国間では既に投資協定が発効しているが、租税条約の発効によりビジネス環境のさらなる改善が期待される。	<p>貿易額 （単位：100万ドル）</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>日本の輸出</th><th>日本の輸入</th><th>収支</th></tr></thead><tbody><tr><td>2017年</td><td>63.0</td><td>49.0</td><td>14.0</td></tr><tr><td>2018年</td><td>64.0</td><td>12.1</td><td>51.9</td></tr><tr><td>2019年</td><td>52.7</td><td>27.8</td><td>24.9</td></tr><tr><td>2020年</td><td>41.0</td><td>35.9</td><td>5.1</td></tr><tr><td>2021年</td><td>66.3</td><td>53.7</td><td>12.6</td></tr></tbody></table> <p>対日貿易の主要品目（構成比）：2021年 日本の輸出：乗用自動車その他の自動車（28.1%）、物理分析用又は化学分析用の機器（8.5%）、印刷機（7.1%）医療用又は獣医用の機器（4.2%）、合成ゴム、油から製造したファクテス（3.3%） 日本の輸入：牛肉（生鮮のもの及び冷蔵したもの）（59.6%）、牛肉（冷凍したもの）（14.4%）食用のくず肉（8.6%）、その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血（3.9%）、羊毛、織獣毛及び粗獣毛（1.8%） 出所：GTA（元データは財務省貿易統計）よりジェトロ作成</p> <p>要人往来： （往） 2015年2月 宇都外務大臣政務官 2015年3月 谷特派大使（バスケス大統領就任式） 2015年5月 西村国土交通副大臣 2017年9月 岡本外務大臣政務官 2018年3月 西川内閣官房参与 2018年12月 安倍総理大臣 2020年3月 河村特派大使（ラカジェ・ポウ大統領就任式） （来） 2015年11月 バスケス大統領（実務訪問賓客） （ニン・ノボア外相、アストリ経済財務相同行） 2015年12月 コッセ工業エネルギー鉱業相 2016年4月 ムヒカ前大統領 2017年2月 ロバージョ大統領府副長官 2019年3月 ベネッチ農牧水産大臣 出所：日本国外務省ウェブサイトよりジェトロ作成</p> <p>日系企業進出状況： 20社（2020年10月時点） 出所：外務省「海外進出日系企業拠点数調査（令和2年10月1日現在）」</p> <p>在留邦人数： 312人（2021年10月時点） 出所：外務省「海外在留邦人数調査統計（令和4年版）」</p> <p>在日ウルグアイ人： 119人（2021年6月時点） 出所：法務省「在留外国人統計（旧登録外国人統計）」</p>		日本の輸出	日本の輸入	収支	2017年	63.0	49.0	14.0	2018年	64.0	12.1	51.9	2019年	52.7	27.8	24.9	2020年	41.0	35.9	5.1	2021年	66.3	53.7	12.6
	日本の輸出	日本の輸入	収支																							
2017年	63.0	49.0	14.0																							
2018年	64.0	12.1	51.9																							
2019年	52.7	27.8	24.9																							
2020年	41.0	35.9	5.1																							
2021年	66.3	53.7	12.6																							
基礎的経済指標																										
<p>実質GDP成長率：4.4%（2021年、出所：IMF） GDP総額：592億8,800万ドル（2021年、出所：ウルグアイXXI） 輸出額：115億4,900万ドル（2021年、出所：同上） 輸入額：89億6,400万ドル（2021年、出所：同上） 主要輸出品目：牛肉、セルロース、大豆、乳製品（出所：同上） 主要輸入品目：自動車、農薬、食品、プラスチック、科学技術製品（出所：同上） 主要輸出相手国：中国、ブラジル、EU（出所：同上） 主要輸入相手国：ブラジル、中国、アルゼンチン（出所：同上） 外貨準備高：166億4,520万ドル（2022年3月、出所：中銀） 対内直接投資額：296億4,229万ドル（2020年ストック、出所：同上） 対外債務総額：468億1,610万ドル（2021年、出所：同上） 通貨単位：ウルグアイペソ 対ドル為替レート：39.647（2022年6月7日、出所：ウルグアイ中央銀行）</p>																										
政治体制																										
<p>政体：立憲共和制 元首：ルイス・ラカジェ・ポウ大統領（Luis LACALLE POU） （2020年3月1日就任、任期5年、連続再選禁止） 議会制：二院制、上院議長は副大統領が兼任 上院 31名、下院 99名（共に任期5年） 政党：FA（拡大戦線）、国民党、コロラド党、独立党、人民同盟他 内閣（主要閣僚）： 副大統領 ペアトリス・アルヒモン（Beatriz ARGIMÓN） 社会開発相 マルティン・レマ（Martín LEMA） 経済財務相 アスセナ・アルベレチェ（Azucena ARBELECHE） 農牧水産相 フェルナンド・マツス（Fernando MATTOS） 工業エネルギー鉱業相 オマール・パガニーニ（Omar PAGANINI） 内相 ルイス・アルベルト・エベル（Luis Alberto HEBER） 外相 フランシスコ・ブスティージョ（Francisco BUSTILLO） 観光相 タバレ・ビエラ（Tabaré VIERA） 運輸公共事業相 ホセ・ルイス・ファレロ（José Luis FALERO） 労働社会保障相 パブロ・ミエレス（Pablo MIERES） 住宅土地環境相 イレネ・モレイラ（Irene MOREIRA）</p>																										
出所：外務省、ウルグアイ政府サイト（2022年6月7日時点）																										
経済動向																										
<ol style="list-style-type: none">1999年以降、ブラジル、アルゼンチンにおける経済危機がウルグアイ経済を直撃。これに国内での干ばつや口蹄疫の発生が重なり、ウルグアイ経済は2002年まで連続のマイナス成長を記録。しかし、その後の政府経済政策（国内銀行整理等）および国際機関等の金融救済措置により、翌年にはプラス成長に転じた。経済危機を教訓として、メルコスールへの過度の依存を避け、対外経済関係の多角化を積極的に進めている。2021年のGDP成長率は、新型コロナ感染拡大の影響で経済が落ち込んだ前年からの回復で、4.4%増加した。新型コロナ感染拡大前の水準に戻りつつある。ウルグアイは、2003年から2019年まで、リーマンショックや隣国ブラジル・アルゼンチンの景気後退にも関わらず17年連続でプラス成長を続けており、中南米諸国の中では経済状況が比較的安定している国の一つである。ラカジェ・ポウ政権は自由主義を堅持し、市場の拡大や解放を重視している。貿易では、輸出において中国への依存度が高く、2020年は輸出額全体の2割強が中国向けだった。中国向け輸出は近年急増しており、2008年から2020年までで約8.5倍増加している。主要な輸出品は牛肉等。これに伴いウルグアイは、中国向け輸出のさらなる拡大を目指し、同国とのFTA交渉開始に向けた動きがある。中国に次いで輸出額が大きいのはブラジルで、全体の15%を占める。2018年12月、日本とウルグアイは牛肉の輸入を相互に解禁した。	出所：日本国外務省等																									
ウルグアイの主要経済指標																										
項目		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年																				
1.	実質GDP成長率	1.6%	0.5%	0.4%	△6.1%	4.4%																				
2.	消費者物価上昇率	6.55%	7.96%	8.79%	9.41%	7.96%																				
3.	賃金上昇率	7.96%	8.21%	8.49%	7.75%	6.28%																				
4.	失業率	7.9%	8.3%	8.9%	10.4%	—																				
5.	経常収支（100万ドル）	8	△266	980	△449	△1,092																				
6.	貿易収支（100万ドル）	14	51	25	5	13																				
7.	対内直接投資額（フロー、100万ドル）	△591	198	1,931	△546	—																				
8.	対ドル為替レート（ウルグアイペソ、期末レート）	28.807	32.406	42.999	42.340	44.695																				
〔出所〕 1.：IMF、ウルグアイ中央銀行、2. 3. 4. 8.：INE、5. 6. 7.：ウルグアイ中央銀行																										